

# 住み心地いかが？

## 話題のトレーラーハウス

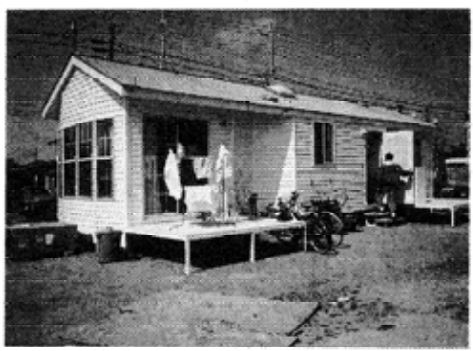
### 機能とインテリア気に入る 自分の敷地に設置

ひたちなか市の平野克典さん

西大島の通称マラン通「まいます」と開口一番に垂り扱い、約280平方メートルの敷地に、基礎工事をして設置して約3カ月住む平野さんは、妻の亜矢さんと保育園に通う息子さんの3人家族。

「すごく住みやすいです。通り沿いにあるので、聞きにいらした人には勧めてし

平野さんのトレーラーハ



平野さんのトレーラーハウス

でに別に約100万円近くがかかったそうだ。「今まで10畳の間に15畳LDKのマンションに住み、荷物は多いほうでしたが、トレーラーハウスは収納場所がいくつもあるので全部入りました。ペアカラスの窓など断熱、防音もしっかりしているの、通りに面していますが室内は静かです。機能本位でインテリアのアメリカ風が気に入りました。住みやすいのでもう一棟を向かい側に建て、ペランダをつなげようと思っています」と平野さん。

### カブコホームズ ジャパン

ひたちなか市

カブコホームズジャパン社は、アメリカで見たトレーラーハウスに興味を持ち、89年から準備を始めていた代表の大山松さんが、輸入がしやすくなったのを機に、昨年3月ひたちなか市にオープンした。

基本モデルは12種で、価格は本体価格340万円から880万円。大きさは幅3・35×長さ7.5の種類の幅4・21×長さ・約11・4日まで。構造などは変わらず、大きさと店舗タイプ、ロフトタイプなどで仕様が異なる。壁面、内装は各種あり、色柄を自由に選べる。

「アメリカには何10社ものトレーラーハウスの会社がありますが、寒冷地の日本の条件をクリアしており、メンテナンスがしっかりしているの、日本に便利な輸送網を持っていたので、カブコホームズにしました。アメリカでは耐用年数50・60年といわれていますが、日本ではまだ歴史が



ダイニングをつくる平野さん一家

## 車というより住まいと考えた造り

トレーラーハウスは車とみなされ、自分の敷地であれば市街化調整区域でも置けると同時に、トイレの水洗、下水道設備、ガス、電気はつなげはすぐ使えるようになっている。地域や車種によっては、浄化槽、中間水槽、電圧を一定にするためのトランスなどの設備を毛地内に付けなくてはならない。市街化調整区域に設置して生活する場合、車輪を付けることを条件とする市町村もあるが、住民登録には支障はない。車両税が固定資産税を支払うことになるが、その対応は地域によって異なる。

ないので30年としています」と大山松さん。  
カブコホームズジャパン  
社 028(275)282